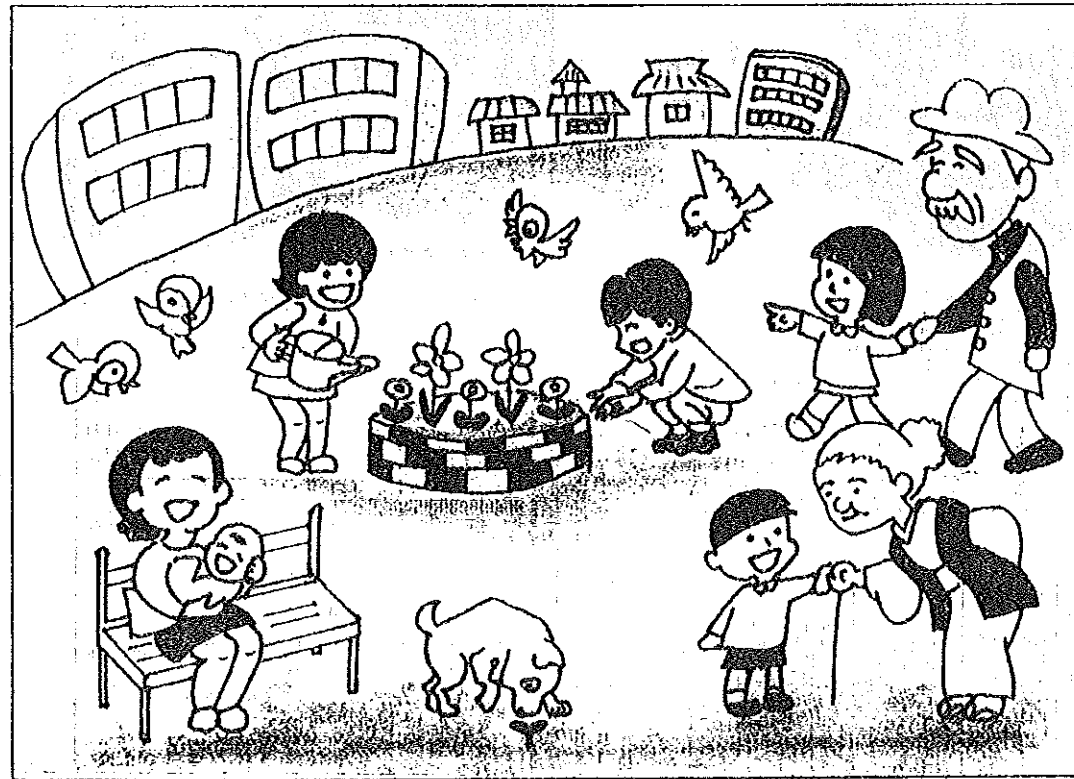
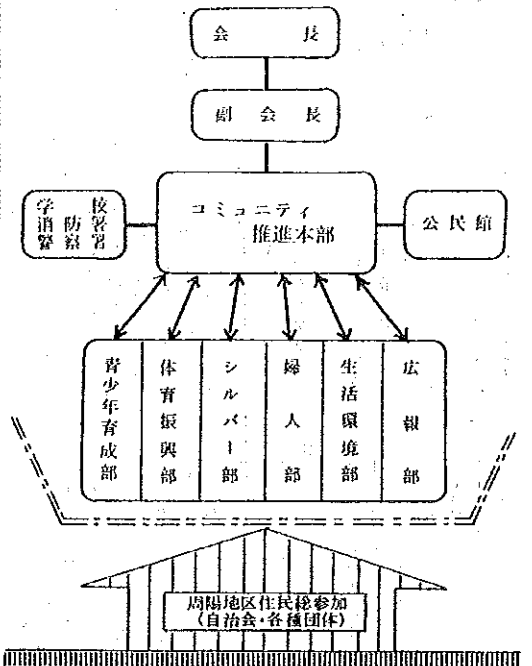


コミュニティ だより

創刊号
昭和54年10月25日
発行 周陽地区コミュニティ推進協議会
編集 協議会 広報部
TEL.28-6515(公民館)



周陽地区 コミュニティ推進機構図



上月二日、各団代表委員で、もって生活環境部を開き、地域の生活環境を住みよきものにすため、各分野において積極的な意見の交換がありましたが、次の目標を一つ掲げました。

地域一斉全域清掃を 実現しよう!!

周陽地区には、婦人の組織的活動の場がありません。婦人部会では、多数の婦人の御意見を求め、地域婦人活動の活性化を図ろうと婦人集会の開催を計画しています。多数のご参加をお願いします。

老人のみなさんと 交流を!!

周陽地区老人クラブは、花苗の配付、桜ノ森清掃など、積極的に地域活動をしています。シニア部としては、年令を越えて地区のみなさんと広く交流できる場を求めています。

婦人集会を 開催します

周陽地区には、婦人の組織的活動の場がありません。婦人部会では、多数の婦人の御意見を求め、地域婦人活動の活性化を図ろうと婦人集会の開催を計画しています。多数のご参加をお願いします。

スポーツに親しみ 健康づくり

- 各種団体のスポーツ・レク活動を調整、促進する。
- 住民参加のできるレク、スポーツを推進する。
- 地域スポーツ・レクリエーションを奨励する。
- 地域全般にわたるスポーツ愛好者を増やす。
- スポーツ施設、用具等の点検整備を促す。



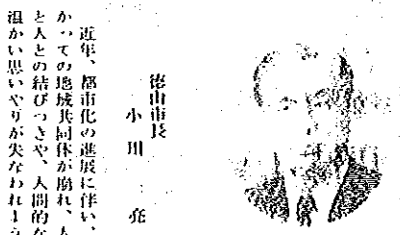
地区住民体力測定祭

公民館の立場
周陽公民館長 黒坂政雄
豊かで快適な生活ができる社会づくりがコミュニティ活動の第一です。周陽地区住民の一人として、地域住民の生活の基盤であるこの運動推進の定着が、この活動推進の基盤であり、地域の活性化の原動力となり、地域の物的精神的環境が期待されます。公民館は活動推進の企画・調整の場を供し、更に行政との連絡調整と事務面の協力を進めます。公民館がわが社会教育の目標達成に重要な役割を担い、果敢に努力したいと思います。

コミュニティは 明るいあいさつから

(問) 最近、あちこちから「コミュニティ」という言葉を聞きませんが、コミュニティとは何ですか。
(答) コミュニティとは、「快適な生活環境があつて、そこで生活する人々の間のふれあいと心の結びつきがあり、豊かに住みよい町」と感じることといえます。私達がその地域に誇りを持つことのできるような町のことである、といえるでしょう。

(問) それで、コミュニティは何か必要なのでしょうか。
(答) 昭和三十年代の高度成長期をきっかけとして、それ以前と人との結びつきを取りもどし、誰もが生き生きとした人間らしい暮らしができる町を作ることが必要になってきました。とりわけ老人や子供などの弱い立場にある人達が豊かに住みよいと感じることのできる新しい町を作ることが必要です。多くの人が考えようになりました。これがコミュニティづくりなのです。



近年、都市化の進展に伴い、かつての地域共同体が崩れ、人と人との結びつきや、人間関係の温かい思いやりが失われつつあります。
徳山市長 小川 亮
私達は、皆様からの英知とエネルギーを結集すれば、必ずすばらしいコミュニティができてくるものと確信しております。



みんなで、よりよい近隣社会を
周陽地区コミュニティ推進協議会
野村 悟 郎
去る九月九日、周陽地区コミュニティ推進協議会が発足いたしました。この協議会は、私達の住む周陽地区が徳山市のコミュニティ推進強化地区に指定されたことに伴い、コミュニティの推進母体として組織された団体で、自治会、体育振興会、PTA、老人クラブ等各種十四団体の代表が構成員となっています。私達がこれを進めたいこととする、コミュニティづくりは、一言で言えば、心のふれあいを基盤とした快適な近隣社会を築き上げていくということです。遠くの親せきより近くの他人という話がありますが、この話の精神が、コミュニティの大きな柱になっています。コミュニティづくりの具体的な進め方については、各専門部でそれぞれ検討してまいります。いざいざにその成否は、地区住民の皆さんのご理解とご協力を得られるか否かにかかっています。次代を担う子ども達のためにも、より立派な近隣社会を私達の手でつくってあげようという努力を、皆さん方のご理解とご協力を切望いたします。

